

情報共有

官邸班 NISA班 ← フォレストにて
5/25 11:10 FIXNISA会室にあり渡り済み
東京電力株式会社

(1枚 非管理メモ)

手許資料

5月25日(水)の福島地域支援室における9時レク概要をお知らせします。

5/25(水)9時定例レク概要

<説明内容>

- ①プラント関連パラメータの状況報告(5月25日 6:00現在)【口頭説明】
②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

【プラント毎】

<1u>

- N2封入について
・電源切替に伴う中断について
○代替冷却設備設置について

<2u>

- OSFP代替冷却浄化装置設置について
○ORWへの移送について
・電源切替に伴い9:05~中断

<3u>

- OSFPへの注水について
・昨日実施済、スキマサージタンク状況から満水と判断
○代替冷却設備設置について
・大物搬入口前のガレキ撤去を継続予定。
○ORWへの移送について
・電源切替に伴い9:10~中断(再開未定)
○給水系からの注水量を12→13.5m³/hへ変更
※流量計の読替のためであり、実質注水量は変更なし

<4u>

- OSFPへの放水について
・約140トン放水予定(ヒドラジン含む)
○OSFP底部支持構造物設置工事について

<6u>

- OT/B地下階のたまり水の仮設タンクへの移送について
・400m³移送予定。

<集中RW>

- プロセス主建屋の水位
・初期値から、3,761mm上昇。
○雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位
・初期値から、3,080mm上昇。
○高レベル廃液処理設備設置について
・廃液処理装置据付作業等を継続して実施。

【その他】

- 飛散防止剤の散布について(本日有人のみ)
○リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
○各号機のT/B地下、トレンチ立坑水位について
○1、2号機の電源切替のため、プラントパラメータ、2、3uからの移送、N2封入等一時停止

<主な質疑>

- Q. 3u T/Bからの移送を停止する理由は?
A. 移送ライン、建屋の点検のために停止する。再開については全体のバランスを考慮して検討する。
- Q. トレンチ、T/Bの水位上昇について、急激に見えるが?
A. 計器の読替等によりこれまでよりも数字が大きくなっている。
- Q. 3u移送中断に伴い、T/Bのキャパシティは超えないのか?
A. 地表面: O. P. 4000と考えれば今すぐには問題はないが、水位上昇状況等全体のバランスを考慮して検討する。
- Q. 3u給水量について、これまで考えていたよりも給水量が多かったということか?
A. 給水系に切替を実施したのは最近であり、それ以降の流量。計器の読替等によるものであり、実質流量が変わるわけではない。
- Q. プラントパラメータに反映されたのはいつからか?
A. 今朝6時現在のものから。

以上

福島第一

福島第一原子力発電所

5/25 20:50 FIX

※NISA入室OKです。

5月25日(水)の福島地域支援室における20時レク概要をお知らせします。

5/25(水)20時定例レク(19:40~)概要

<非管理メモ>

<説明内容>

①福島第一・第二原子力発電所への地震・津波の影響について【参考配布】
(IAEA調査団への説明資料)

②福島第一原子力発電所の状況【参考配布】

③核種分析の結果について(空気、海水、ピット、土壌、サブドレン)【資料配付】

④本日の作業状況、明日の作業予定

- 電源構成のための切り替え工事について
- 1uの窒素封入について
 - ・コンプレッサ作動停止→19:44復旧
- 各号機の原子炉への注水について
- 1u、2u代替冷却設備について
- 各号機タービン建屋たまり水について
- 各号機トレンチ水位について
- 4uのSFPコンクリートポンプ車による注水について
- クリコート散布、リモコンによるガレキ撤去について
- 2、3uトレンチ立坑、ピット閉塞作業について

<主な質疑>

- Q. N2封入の停止について詳細は?
- A. 15:45にコンプレッサー1台が停止していることを確認したので、別の代替器へ切替を実施した。
- Q. なぜ停止したのか? また炉内の水素濃度上昇等はないのか?
- A. 原因については未確認である。
圧力を見る限り特段問題ないと考えている。

以上

情報共有
(非管理メモ)

fax 1枚.

5/25 (水) 福島地域支援室 22時45 臨時レク概要

<説明内容>

- 当社福島第一原子力発電所の放射線業務従事者の線量限度を超える被曝に係る原因究明及び再発防止対策の策定に係る報告に関する
経済産業省原子力安全・保安院からの指示文書受領について【資料配付】

<主な質疑>

- Q. 2Fにおける線量管理とはどういったことか?
A. 2Fにおいても3ヶ月で1.3mSvを超える値であったので、
線量管理という意味で管理区域にすべきだったということ。

- Q. 管理区域に設定するとは具体的にどういったことか?
A. 従事者の装備や作業環境を整え、人員すべてに関して線量管理を行い、
線量を評価する等の処置をするということ。

- Q. 線量管理システムはまだ復旧していないのか?
A. 2Fは動いているが、1Fは復旧を目指している状況である。

- Q. 3ヶ月に1度行うこととされている内部ひばく評価が遅れている人員は
何人いるのか?
A. 確認する。

- Q. 従事者登録をしないで作業をしている人員は何人か? (1F、2F)
A. 確認する。

以上